

ルルドの丘

2015
6月
No.32



社会福祉法人 聖母の騎士会
恵の聖母の家
児童発達支援センターめぐみ
相談支援事業所ころ

みことば

それにしても、喜びと幸福は
なんと人間を美しくするものか！
なんと心は愛にわき立つものか！

(ドストエフスキー)

きらりん★

ふるさと訪問活動

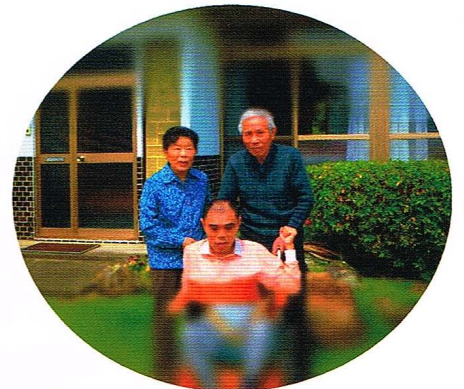
介護福祉士主任 竹尾 昭彦

当施設では、利用者の年齢が上がるのと同様、ご家族も高齢化しています。5年前の帰省状況をみますと夏季、冬季ともに10名だったのに対し、昨年は夏季、冬季ともに5名と半分に減りました。これらからみても分かるように、利用者を自宅へ連れて帰りたくても帰れない要因が、今以上にこの先ますます増えていくことが考えられます。

そこで、利用者、ご家族のお互いの思いを叶えられるようにと2013年度から「ふるさと訪問活動」と題して、自宅への日中一時帰省をサポートする取り組みを始めました。移動は福祉タクシーを利用、看護師1名、活動担当者1名が同行し、活動の費用等に関しては、全て利用者の自己負担としています。これまで、県内の高齢者施設で暮らす両親を訪ねたり、父親が病気となり、面会が遠ざかったため自宅へ帰省したり、「父親との良き思い出づくりを」としてドライブや公共施設へ出向いたり、自宅まで帰れなくても生まれた地を訪れ親戚の方と再会し、一緒に外食を味わった、といったように現在までに、4家族（6事例）の活動を実施することができています。

全活動において、心温まるお言葉、利用者、ご家族の満面の笑みや喜ばれる姿を目の当たりにし、この活動のやりがいを毎回、ひしひしと実感しています。詳細に関してお聴きになりたい方は、（生活福祉課・竹尾）までお申し出ください。

結びに代えまして、今後も利用者、ご家族の思いを傾聴し、ニーズに沿った活動を展開していきたいと思えます。



巻頭言

施設長 佐藤 圭右

私たちの施設は、社会福祉法人聖母の

騎士会が設立母体であり、その一事業所として恵の聖母の家(医療型障害児入所施設・療養介護事業所)があります。大分県下には、他に、私たちの施設のすぐ近くに潔き(きよき)聖母の家(障害者支援施設)、日出町にナザレトの家(障害福祉サービス施設)があります。しかし、本部は佐賀県にあり、佐賀県下にはさらに、ロザリオの園(指定介護老人福祉施設)、オリーブの苑(有料老人ホーム)、聖母保育園(保育所)、いとし子の家(障害者支援施設)、聖母園(児童養護施設)、殿の浦愛児園(保育所)などがあります。実は、総従業員数五百名弱の一大企業です(笑)。

その成り立ちですが、そもそも、長崎県に宗教法人の聖母の騎士修道女会があり、その修道女(シスター)の皆さんが、長崎での原爆被害を目の当たりにし、さらに、親を戦災で亡くした児童の保護など、その救済支援から、修道女会が生まれ、その活動事業として社会福祉法人の設立に至った、とうかがっています。そこで、社会福祉法人聖家族会みさかえの園を長崎県諫早市に設置し、そこに恵の聖母の家や潔き聖母の家のような施設、すなわち、むつみの家・あゆみの家(医療型障害児入所施設・療養介護事業所)や、めぐみの家・のぞみの家(障害

者支援施設などを配しました。

大分県の重症児者は、遠く長崎のむつみの家に入所していたそうです。その当時の高速道路もないような交通事情の中で、遠路はるばるの面会に行っていた、とうかがいました。そのため、保護者の皆さんの熱心な働きかけによって、聖母の騎士会が大分県に恵の聖母の家を設立しました。

つまり、長崎の聖家族会も佐賀・大分の聖母の騎士会も、元をたどれば修道女会の活動から創られたもので、言わば姉妹法人であり、恵の聖母の家とむつみの家・あゆみの家はいとこ施設と言えます。

さて、そのようにカトリックの精神を背景に生まれた施設ですから、
一・カトリックの愛と奉仕の精神で、一人ひとりのいのちを大切に、すべての人の幸福を願います。

一・キリストの母マリアの心で、心身において助けを必要としている人々のかたわらによりそいます。

が基本理念として掲げられています。ただ、最近、私たちの施設で、「死」について考える場面が出てきました。重症児者の高齢化に伴い、悪性新生物、いわゆる「がん」の罹患です。残念ながら、胃透視や胃力メラがなかなかできない重症児者では、がんの発見が遅れてし

まい、治療が困難になることが少なくありません。また、保護者の方も死別され、治療方針が決定しにくい入所利用者さんもいらっしゃいます。そのような方の治療方針は、現在、外部の方にも委員になっていただき、倫理委員会というものを開き、その中で決定するようにしています。

昨年、その過程を学会で発表したのですが、発表者は、シスターである牧山総師長でした。そこで、キリスト教の考えでは、死は終わりではないということも話されました。他施設から、生死の考えの中に、宗教的な考えがあるのがうらやましいという意見をいただきました。

☆

私たちの施設の中に、お聖堂みどうがあります。そこでは、毎日、シスターがお祈りをささげるとともに、信者さんである利用者さんも時々ミサに参加されます。そここそ、恵の聖母の家の心臓部だとも言えます。

ところが、そのお聖堂みどうも、築三十年を超えた現在、壁が剥がれかけ、直貼りの壁や床も寒々としています。そこで、近々、リフォームすることとしました。利用者さんがいつも利用する場所ではありませんが、利用者さんを見守ってくれる場所です。恥ずかしくないものに仕上げれば、と願っています。

そこで、せめてもの救いとなればと考え、「ビフォー・アフター」に応募しました。選ばれるといいのですが…(笑)

▼写真は恵の聖母の家のお聖堂です。



▼各部署の声です。今年度の目標は「協調」まごころです。

新年度について

おたくさ



まごころをばなににたとへん
まごころはあぢさいの花
ももいろに咲く日はあれど
うすむらさきの
思ひ出ばかりはせんなくて。

詩人・萩原朔太郎の
「まごころ」より

TiltShift Studio <http://grafficia.com>

新年度を迎え早、おたくさの季節と成りました。今年も中庭や、この冊子の名称ともなったルルドの丘にも雨をおびて尚一層、凛と美しく咲きほこっています。

四月に採用された新職員の方々も、随分慣れ其々の職場で嬉々として頑張っている姿に此方も励まされます。

昨年末に、恒例の年度目標を各課に募り、決定した今年度の目標は『協調』でした。利害や立場等の異なる者同士が協力し合うの意味が含

総看護師長 牧山 美鶴江

まれます。恵の聖母の家の大きな家族の中で其々の立ち位置で、おたくさの花言葉「一家団欒・家族の結びつき・和気あいあい」を意識して、時間の流れに抗う不断の努力を続けながら、時を経て、色を変えて又、新しい恵の聖母の家の歴史が刻まれて行きます。私たち一人ひとりが、この職場を選んだのではなく人知を越えた大きな力によって選ばれたのです。ですから、私たちに信頼を持って全てを委ねておられる外来、入所の利用者、ご家族の皆様にも最善の努力と誇りを持って仕えなければ、目標の達成には成らないでしょう。ももいろに咲く日はかりでなく、うすむらさきの日になってしまふ事も有るでしょうが、その時は、チョッと蝸牛に成って、おたくさの葉っぱの陰で休むと良いでしょう（それもまた風情が有りますね）。

和気あいあいの中にも、互いに尊敬と正しさを選り取る強い意志を持って心身においている人々のかたわらに寄り添いましょう。

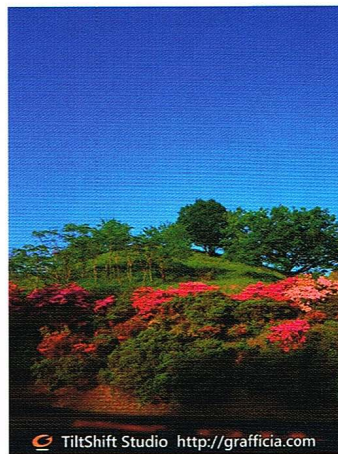
おたくさ
(紫陽花の和名)



TiltShift Studio <http://grafficia.com>

生活課
福祉

療育部として



TiltShift Studio <http://grafficia.com>

青葉をわたる風のこちよよい季節をむかえています。

恵の聖母の家は四月より新年度がスタートし、一ヶ月が過ぎました。唐突な質問ですが皆さん、恵の聖母の家の組織図をご存知でしょうか？
医局・診療支援部・看護部・療育部・事務部とあります。記憶されている方の中には、いらっしやるかと思えます。今回は「療育部」について、少し紹介させていただきます。

療育部は、生活福祉課(入所部門)、児童発達支援センターめぐみ(地域支援部門)、相談支援事業所(相談支援部門)等で構成されています。今年度の各部署の目標は次の通りです。

生活福祉課

一般病棟(のぞみの丘・あゆみの広場)

「個別支援計画書の短期目標に沿って個々が持つストレングスを、最大限引き出せるように支援します」。

課長 高橋 文字



特殊疾患病棟(ひかりの大地)
「二人ひとりのストレングスを活かした個別支援計画書に沿って、他課と連携し、充実した支援を行います」。

児童発達支援センターめぐみ
①「利用者数の拡大」②「利用者及び家族へのサービスの向上を図る」
相談支援事業所
①「福祉サービス計画の質の向上に取り組み」②「新規利用計画の拡大を図る。(在宅サービスの関係する事業所との連携及び開拓)です」。

今年度の施設目標である「協調」を念頭に置き、療育部は各部署の目標を達成できるようスタッフ一同、共通理解のもと協力体制を整えていきたいと思えます。



管 理

役職職員の責務

事務次長 森 幸一

恵の聖母の家に勤務して三年が過ぎました。これまでの自分の人生を振り返ってみると、就職、転職（数回）、出向、復職、転職（数回）、再度出向、再就職と、異動していく職場を一つの勤務場所だと考えると実に十三か所に勤務したことになります。



営業でノルマと向きあう中、上司に苦情の電話が入ったことや、督促のために訪問し逆に泣き付かれ、心がくじけそうになったことも。また、逆に今月の目標に届かずこちらが泣きそうな時に大口で協力してくれたお客様もいました。

いろいろな場面で必要なのは、相談に応じてくれ、そしてアドバイスをくれ叱咤激励してくれる上司の存在だと思います。職場の中での職制は非常に大きな存在であり、それだけに役職職員に課せられたものは重く大きなものだと思います。

役職職員に必要なものを三つあげます。一つ目は判断をするということです。あなたは役職者です。職位による責任と権限があります。他の職員を指導できる知識と見識が備わりその職位についたはずでです。二つ目は間違えたら修正をするということですが。全てに完璧な判断をすることができるといってはいけません。何も判断しないことが最悪の判断です。そして三つ目、これは質問でもあり、そしてこれが一番重要かもしれません。あなたは部下又は後輩を二人以上育てましたか。人材の育成これが一番重要なあなたの仕事です。

最後に、仕事は楽しく・一度だけの人生です。

看護課

過去と現在

看護師 田尻 裕子

私が恵の聖母の家に仕事に就き、今年の六月で二十五年になります。就職のための面接の日、病棟を見学していると、職員が利用者の方に対して笑顔で優しく接していたのが印象的で、今でもその光景を思い出すことがあります。昔、一病棟に勤務していた時に、園庭（今のあゆみの広場が建っている場所）に出て、療育で「ハンカチ落とし」等のレクリエーションを行って楽しんだ記憶があります。私はすぐに答えられない等、よくへまをするので、当時は保育士さんからよく怒られて、笑うしかありませんでした。それでも入所者に「大きい目」とあだ名をつけてもらって、とても嬉しかったです。当時、担当者は部屋ごとに分かれており、散歩では入所者の車いすを押してルルドに上ったこともありました。若かったなあと思います。そんな私も年を重ねるにつれ忘れっぽくなり、昼の休憩時間は、利用者の方から「上がりよ」と笑われながら教えてもらっています。

入所者も、私が仕事を始めた頃は体位変換や移乗の際、自分で身体を動かすことがみられていましたが、それもみられなくなったり、また会話ができていた方の変化や食事が経口摂取の方が経管栄養や胃ろう、ソフト食に、他に気管切開になったりと、だいぶ状態が変わってきたと思っっています。業務に当たってはけがや骨折、体調面により注意が必要と感じています。

そんな中、二〇一二年には担当入所者の食事についての取り組みを始めました。反芻行為に対するの取り組みでした。昔自分で手を用いて食べている時はそういった行為は見られなかったので、

自分で食べられるように働きかけたら反芻も減るのではないかと考えました。開始時は成功するかどうか心配でした。そこで、「自分で食べる」以外に必要なことはないか、好きな音楽をかけてはどうだろう、もう少し反芻を減らしたいとタッチングも行いました。結果、課題となった行為も減り、それに伴って本人の状態や表情がともよくなりました。

この取組は二〇一四年に徳島で行われた療育学会では研究として発表しました。発表の前は家で娘によく聴いてもらいました。暗記できるように繰り返し練習し、娘は間違ったところを教えてくださいました。準備万端のつもりでしたが、発表は開会が行われた広い会場で行うことになり、しかも一日目だったのでとても緊張しました。時間内に発表できたものの、うまくできなかったところもありました。会場から質問はなく、座長からは「誤嚥」について質問があったと記憶しています。うまくできるか緊張していた発表も、逆にうまくできなかったことで気持ちがふつきましたように感じました。

この発表にあたっては様々な職員に協力していただき、とても助かりました。ありがとうございました。良い経験ができたと感じています。

さて自分にとって今年書き物がたくさんある年です。看護計画や評価、個別支援計画の中途評価等々が待っています。バシッとやっていくことは無理なので、皆さんの協力をいただきながらやっていこうと思っています。よろしくお願います。



2015年2月8日(日)
第18回大分重症心身障がい児者施設連絡会
第6回研究発表会

恵の聖母の家地域交流ホームを会場として研究発表会が行われました。会長で大分大学医学部小児科学講座主任教授井原健二先生の開会の挨拶で開始し、「重症児医療」「重症児看護」「療育・生活」「在宅支援」「教育」について研究発表(14演題)を行いました。会場ではたくさんの質問、助言をいただき、会員相互の今後の研究につなげていくことができました。ご協力ありがとうございました。



2015年3月3日(火) 雛祭り

3病棟それぞれに桃の節句をお祝いしました。今年も職員がお内裏様、お雛様に扮し、入所者に楽しんでいただきました。



2015年3月7日(土)
第37回九州地区重症心身障害研究会

長崎県の長崎ブリックホールで行われ、当施設は看護課から『ショートステイに関する取り組み』、生活福祉課から『個別性に沿った移乗方法の検討と統一』を発表しました。午前、午後の部に分かれての発表で、それぞれ優秀賞を受賞することができました。この賞を励みにして今後の支援につなげていきたいと思ひます。



2015年4月5日(日)
復活祭ごミサ

交流ホームで恵の聖母の家、潔き聖母の家、そして地域の方が参加してごミサが行われ、「私たちの生命は死んで終わりではなく、永遠の幸福へとつながっている」という復活の意味を神父さまから教えていただきました。



2015年4月9日 支援学校訪問教室

恵の聖母の家で訪問教育を受ける生徒さんの始業式が病棟で行われました。校長先生からは進級のお祝いの言葉と「一学期は新しいことがはじまること」を教えてくださいました。また、どんなことを一学期に頑張るか、目標と「元気に過ごすこと」を宿題としていただきました。「いろいろな行事もその都度、知恵を出して頑張っていこう!」「一人でなく、みんなで一緒に頑張ろう」と温かい声援もいただきました。今年度も元気に授業に参加しましょう!

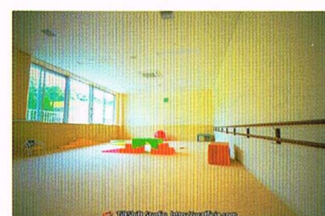
2015年度 施設行事予定

月	日	内 容
4	2 木	施設外療育 吉四六ランド
	5 日	復活祭ごミサ
	9 木	施設外療育 吉四六ランド
	23 木	施設外療育 リバーパーク犬飼
5	10 日	ルルド祭
	14 木	施設外療育 臼杵石仏
	21 木	施設外療育 パークプレイス大分
	28 木	施設外療育 臼杵石仏
6	20 土	ふれあい運動会
	25 木	施設外療育 道の駅 きよかわ
7	9 木	施設外療育 臼杵マルショク
	16 木	施設外療育 わさだタウン 他、夏の集い、夏のボランティア公演等
8	15 土	聖母被昇天祭・故利用者追悼ミサ
9	12 土	家族の日・ファミリーフェスティバル
	17 木	施設外療育 うみたまご
	24 木	施設外療育 臼杵しまむら
10	8 木	施設外療育 道の駅きよかわ
	15 木	施設外療育 パークプレイス大分
	20 木	施設内活動
11	8 日	ボランティア公演
12	12 土	クリスマスの集い
	17 木	餅つき
	24 木	サンタプレゼント
	25 金	クリスマスミサ
2016年		
1	1 金	お正月行事
2	3 水	節分
3	3 木	ひなまつり

※予定変更の場合があります。

2015年2月
訓練棟が新しくなりました!

ルルドの丘31号でもお知らせしましたが、訓練棟が新しくなりました。館内の床は水色を用いて、川の水が流れている森のイメージとなっています。これからどうぞよろしくお祈りします。



PT室です



ST室です



2015年4月30日(木)
カラオケクラブ 3名

いつもは園内でカラオケを行っているメンバーが大分市内のカラオケクラブに行ってきました。歌う曲を何にするか、出発後から車内で話して楽しんでいました。到着後はパーティールームを使用し、日頃CDで聴いている歌を、そして最後は皆で『サライ』を歌ってしめました。「次回は『北国の春』や『酒よ』を歌いたい」と、次の目標も聴かれました。



2015年4月2日(木)
吉四六ランド 4名

恵の聖母の家から車で10分ほどのところにある、『吉四六ランド』にお花見に出かけました。出発前は緊張した方もいましたが、現地では「お母さん」とよく声も出て、ご家族と一緒に気持ちよく散歩したり、出会う方々にも挨拶をしていました。施設に帰ってからも「楽しかった」と話してくれました。吉四六ランドは当施設の近くにあるので、参加者は疲れや緊張もなく、ご家族と一緒に満開の桜を楽しむことができました。参加いただいた皆さま、ありがとうございました。



2015年4月9日(木)
吉四六ランド

当日は雨天となり、少し寒そうな方もいたので保温に注意して活動を行いました。移動中の車内では外の景色に目を向ける方、移動中は眠っていても、現地に着くと外気に触れて良い表情を見せた方、逆に現地で気持ち良さそうに眠った方もいました。店内ではキーホルダー等の商品が目の前に示されると、視線を向けて穏やかな表情を見せてくれたり、ご家族と散策を楽しんだり、マッサージやお話等で気持ちよく過ごすことができていました。参加いただいた皆さま、ありがとうございました。



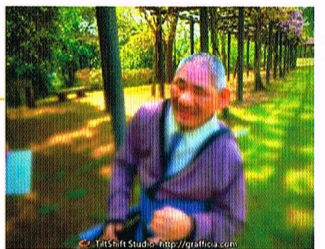
児童発達支援センターめぐみ年間計画

月	内 容
4	春を感じて! 散策・戸外活動(潔き聖母の家 お花見)
5	父の日準備・戸外活動・ゴルフ
6	父の日・スポーツレク・レクダンス ふれあい運動会(6月20日)
7	夏を感じて! 七夕・感覚遊び(一キネティック・サンドー)
8	リフレッシュ活動(スヌーズレン他) 映画鑑賞・人権の勉強・ボランティア公演
9	スポーツレク・行事事前学習 ・家族の日ファミリーフェスティバル
10	秋を感じて! 散歩・ハロウィンパーティ・レクダンス
11	秋祭り(ご家族とのレク) ・クリスマス準備
12	冬を感じて! クリスマスの集い(12月12日) ・餅つき・年賀状書き
2016年	
1	お正月行事・スポーツレク・節分行事
2	節分・雛祭り準備・レクリエーション
3	ひなまつり・レクリエーション

※予定変更の場合があります。

2015年4月23日(木)
リバーパーク犬飼

天候も良く、車に乗ると座席シートを触って喜んでいらっしゃる方ははじめ、皆、お出かけを楽しみにしている様子でした。現地にはそよ風が吹いていて、散策の時に支援者が押すのをやめて車いすが止まると、「もっと押して欲しい」と怒ったような表情を見せたり、自分で歩いて藤の花の下で散歩を楽しんだ方もいました。周囲の景色に目を向けて笑顔を見せた方、手に持った楽器を振って楽しんだ方、またブランコに乗ってずっと足下に目を向けて、揺れる感覚に関心を持った方等、自然や感覚を楽しみました。参加いただいた皆さま、ありがとうございました。





児童発達支援センターめぐみ

児童発達支援センターめぐみです。三月二十四日から四月七日までは春休みでした。

この間、センターでは放課後デイの児童も一緒に活動しました。

三月二十六日（木）日本財団様より、軽自動車の福祉車両が届きました。みんな（どんな車か？興味津々）で待っていました。カラフルなニコニコマークの車を見て、みんなからも笑顔が見られます。車の前で写真を撮ったり、試乗して楽しみました。

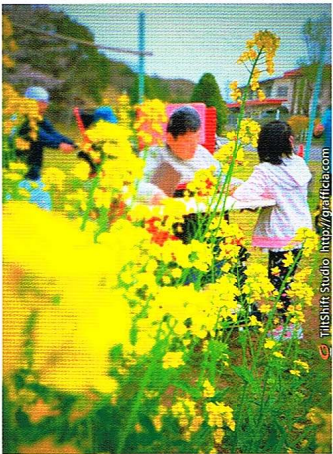
複数の車椅子利用者を迎えられる福祉車両は便利なのですが、地域によっては非常に狭い道を送迎する場面もあり、大型の車両では難しい場合もあります。そんな時に、この福祉車両は小回りも利き、とても力になります。これからじゃんじゃん活用させていただきます！



四月に入り、周囲の菜の花や桜も開花し「ヨゼフ広場」や潔き聖母へ、利用者とお花見散歩へ行きました。外気も心地よく、外に出る機会も少なかったのでみんなの表情も、いつになくほころんでいます。桜の花を見ながら、「花見には、何か欲しいな。買い出しに行こうか？」との支援者の会話に、大喜びする方もいて、春の訪れを全身で感じられる一時でした。

四月七日（火）春休み最終日は、「学生チーム」対「大人チーム」でスポーツ「ポッチャ」をしました。一人ひとり順番に、打球台から手でボールを押し転がしてターゲットの白球を狙います。ボールの転がる方向に、周囲の支援者も一喜一憂し盛り上がりながら、結果は引き分けでした。これまでにない、接戦に児童も大人も一緒に交流を楽しみました。

児童発達支援管理
責任者 丸山 久幸



地域連携

俯瞰的な支援

「日常生活に困難さを感じても、このようにしたらやってみよう」といった道しるべがないかと探していたら、「社会保障」という言葉に行きつきました。社会保障は一人の努力や備えだけでは通常の生活が困難、あるいは不可能になった場合に、国の責任で社会の人々を対象に、現金、医療、現物・サービスという形態で給付を行う公的制度」で、それは保健・医療や社会福祉、所得保障、労災・雇用、公衆衛生、権利擁護等からなっています。

言葉が固く、何か遠い存在のものようですが、一つひとつはともも身近なものです。たとえば保健医療・公衆衛生は、みんなが健康に生活できるように予防や衛生のための制度で、「健診」や「出産の手当金」がそれに当たります。社会福祉は、社会生活を送る上で様々なハンディを負っている人がそれを克服して安心して社会生活が営めるように公的な支援をする制度です。児童福祉では児童手当、児童扶養手当、通所として児童発達支援、放課後等デイサービス、入所支援、各種手帳等があります。障がい保健福祉では、十八歳以降の就労期に居宅サービス、施設サービス、社会参加促進、手当等の支給、就労移行支援、就労継続支援等があります。二十歳になれば所得保障として障がい年金があります。

主任 松山 修一

これを人のライフステージに当てはめてみると、出産前後は健診や出産手当等があって、仮にその後支援を必要とされる方の場合は、就学前後に児童発達支援事業や保育所等訪問支援事業、放課後等デイサービスがあり、就労時期には就労継続支援や障がい年金という自立へとつながっていくと思います。そして、社会生活の中で本人の権利が守られるように、児童虐待防止法や障がい者虐待防止法、成年後見制度が権利擁護としてあります。「どの時期に何を利用する」「そのために何を準備しておいたら良い」、あるいは「こういう生活を送りたい」「それにはこういうやり方がある」というように制度も含めながら次に行うことを考えると見通しが見え、今後の生活も変わってくるように感じます。

各制度を利用するためには申請や手続きがあり、実際に利用されている方からみるとまだまだ課題もあると思います。ですが、ライフステージ的、俯瞰的な見方で豊かなゴールへの支援ができればと思います。





放射線課

恵のツバメ



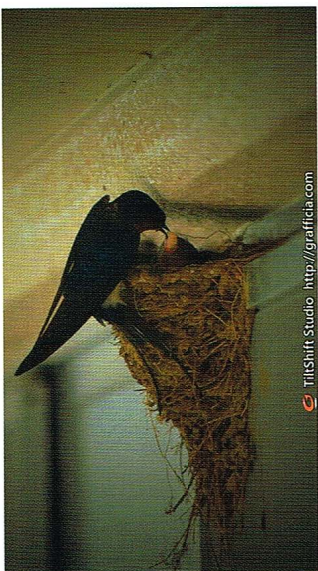
今年もいつもの場所にツバメが帰ってきました。去年の巣を再利用して子育てしてるみたいですね。毎年ツバメを見てますが、いつも同じ鳥が巣の外にいるので調べてみたら、ツバメは雌が育児の役割をするようなので納得しました。巣の外で心配そうに見守っているのはオスのツバメですね。雌は姿があまり見えないですが卵を温めるようです。

ではツバメの豆知識を少し書いて見ましょう。ツバメの雌は一日一つ大体三個から七個程産みます。孵化するまでには約二週間かかりますから、今年はゴールデンウィーク明け位にヒナがかえるはずですが、その後ヒナが巣立ちするまでの期間が約三週間ですから、六月の初旬位まで恵にいるはずですね。

ツバメは渡り鳥ですから、巣立った後は一体どこへ行くのでしょうか。正確な場所ははっきり分かりませんが、近い場合で台湾、遠い場合はオーストラリア北部からマレー半島まで行くらしいです。渡り中は平均時速六〇キロ程度で飛行中に食事をして寝る事も可能だそうです。そして目的地に到着できた場合、平均的な大人の仲間入り、餌の取り方、天敵をかわす技術と知恵、長い距離を飛行する体力を備えた個体成長し、巣を作り、産卵、子育てを行い親鳥となって又、恵に帰ってくる訳です。

ただ残念ながらツバメの平均寿命は一年半ですから、来年帰ってくるのは親とは限らないのが残念ですが。まあどちらにしても来年も元気な姿で恵に帰って来て欲しいものです。

放射線技師 清永 高明



訓練課

みいくんの成長

作業療法士 兒玉 敬祐

「けいくん、今日はなにしてたの？みいくんは、幼稚園に行ってきたよ。みいくんね、おもちゃがほしくなっちゃった。」と言いなながら、みいくんは私に電話をかけてくれます。私は二年前の園内報ルルドの丘でみいくん（姉の子ども）を紹介しました。その頃、みいくんは「バイバイ。バイバイ。タッチ。」とずっと言っており、聞き取れない宇宙人語もたくさんお話ししていました。保育園や兒玉家では玩具を一人で独占して、気に入らないことがあればダダをこねて、あたかも自分が王子様だぞと言わんばかりの様子でした。

そんなヤンチャ王子様も今年の四月から幼稚園デビューをはたしており、とても成長した様子がみられています。二年前と比べ、とても成長したなと感じることは言葉が達者になったということです。聞き取れない言葉はほとんどなくなり、日常の出来事を教えてくれます。そして何より、おもちゃが欲しいとおねだりするようになりました。

子どもに対して簡単におもちゃを買い与えるのは悪いのではないかと？という葛藤が私の中ですが、徐々に会うと私の財布の紐はほどけて、みいくんの笑顔が見たいがために欲しいものを買ってあげる優しいおいちゃんになってしまします。

これからも、みいくんやゆうちゃん（妹）の笑顔が見たいがために優しいおいちゃんになります。なと感じています。





保護者の 皆様から



自分を支える言葉

吉良 和枝

娘はダウン症です。恵の聖母の家の訓練を受けるようになったのは生後9か月くらい経った春頃からだったと記憶しています。わが子がダウン症と説明を受けるまでは障がい児の親になる事を他人事とされていて、説明を受けても受け入れをできずに何が何だか、よくわかりませんでした。大分の医師からは「この子は一つひとつ教えていく必要がありますよ」と話があり、「普通には育たない」とショックを受けたのを覚えています。大分の相談員に話すと、恵の聖母の家の相談員さんを紹介してくれました。その相談員さんから「周りにダウン症のことを知っている友だちはいますか?」と、同じ症状や障がいを持つお子さんの保護者を紹介してくれて、そのお子さんが訓練の時に見学に来たら良いとお誘いももらって、実際に見に行くと、そのお母さんも笑顔で子どもを見守っていて、私はその時、「一人ではないんだ」「相談できる場ができた」と心の支えを得たように感じました。

初めは、障がいの説明を受けて、どこに相談したら良いかわからなかったけれど、先輩お母さんたちとの出会いがあって、本当に良かったと感じています。また、恵の聖母の家の

スタッフにも相談でき、抵抗なく訓練に連れてこられるようになりました。

一時期、訓練に連れて行くだけの自分でもいいのかな、子どものために自分は親としてちゃんとできていないんじゃないかと悩んでいた頃があります。その時、訓練の先生から「お母さん、ちゃんと訓練に連れて来てくれることに意味があるんですよ」と一言言われて、とても嬉しかったです。また主人からも「訓練にいろんなところに行つて、いろんな刺激を受けることが大事だと思う」と言われて、それもまた頑張つて行こうと自分を支える言葉になりました。

恵の聖母の家の皆さんは、訓練以外にも家族のことの相談にも乗ってくれます。家には子どもが3人いるのですが、娘と他の兄弟児の関係作りについても話をして頂き、それもとても役に立っています。娘に私がつきっきりになることで、他の兄妹たちがストレスを抱えてしまうことも心配になります。訓練にはできるだけ兄妹も連れてきて、娘の現状を理解してもらおうと取り組んでいます。訓練をしていくことで、一つひとつ少しずつですができていくことが増えて、とても嬉しいです。良いところを紹介してもらったと感じています。

いろいろあった5年間ですが、振り返ってみると、あっという間です。療育や訓練のお話を聴いて、なかなか気持ちがのらないお母さんたちもいると思います。何か、きっかけがあつて、前進できればいいなあと思います。私には、友達、両親、仲間、そして先生方、たくさんの支えてくれる人がいます。娘の人生はまだまだこれから。今後も皆さんと一緒に娘の成長を見守つて支えていければと感じています。

支援学校 訪問教室



「一日一日 大切な日々」

臼杵支援学校 校長 工藤 雅道

臼杵支援学校の校長の工藤です。本年度で臼杵支援学校2年目になります。本年度も、よろしくお願ひいたします。

さて、貴施設でおこなわせて頂いております、本校の訪問教育、大変、お世話になります。貴施設職員の多くの方々に支えられていることを感じています。感謝申し上げます。今年の担当教員は、馬見塚みほ先生です。ご紹介するとともによろしくお願ひいたします。

始業式を4月9日木曜日に、行わせて頂きました。始業式では、本校から担当の教員に加えて、教務主任、小学部主事と私の4名が参加し、そして、多くの貴施設の職員の方々、入所しているの方々が見守る中で、平成27年度1学期の始業式が出来たことは、とても嬉しいことです。始業式では、入所者の方々、貴施設職員の方々と一緒に本校校歌と、「みんな～同じ生きているから～、一人に一つずつ、大切な～命～♪」の「まあいいのち」の歌など歌いました。

訪問の生徒さんは、今年の4月で小学部6年生になりま

した。進級おめでとうございます。

小学部6年生と言えば、小学部の中で、一番思い出に残る修学旅行を行う学年です。

皆さんは、小学校の頃の修学旅行を覚えていますか?どこに行つてどこを観光して、どこで遊んだか、当時の担任の先生、友だちと枕投げした思い出を、かすかに思い出すのではないのでしょうか。6年生になった生徒さんには、かけがえのない思い出ができるように工夫したいと思います。

生徒さんにとっても皆さんにとっても、この一年、一日、一日がかけがえのない大切な日です。多くの思い出ができるように頑張りたいと思います。

私は、今まで障がいのある方々、その親の方々、施設の方々と多くの出会いがあり、多くのことを学びました。今年も、一人一人の児童生徒の「ゆめ」の実現に向けて頑張りたいと思います。よろしくお願ひいたします。



★ぴかぴかぴかぴかぴかぴか★

新しく入られたスタッフをご紹介します。①お名前 ②職種 ③お住まい ④趣味 ⑤一言



①板井 美佳(いたい みか)さん②看護師③臼杵市④メダカの飼育やドライブです。⑤利用者さまの健康と安全に配慮して勤務していきたいです。よろしくをお願いします。



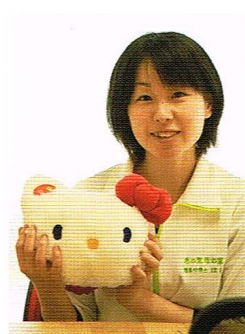
①大賀 加奈(おおが かな)さん②児童指導員③大分市④絵本を作ることです。特にストーリーを考えることが得意です。⑤福祉の対象は、全ての人であることをモットーに、本人主体を重視していきたいです。笑顔を決やさず、「心」のある関わりができるよう、日々精進していこうと思っています。まだまだ未熟ですが、これからよろしく願い致します。



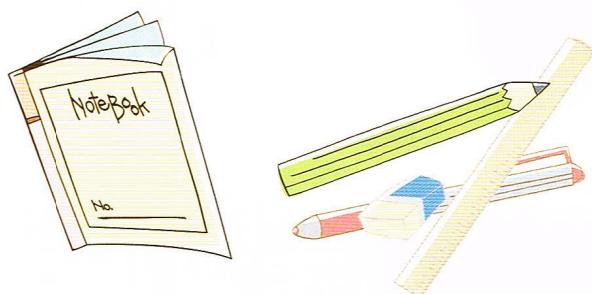
①小島 あゆみ(こじま あゆみ)さん②看護助手③野津町④アニメ観賞で少年漫画のアニメ系が好きです。今は『弱虫ペダル』をよく読んでいます。疾走感や青春を感じてさわやかな気持ちにさせてくれます。⑤9月まで恵の聖母の家で働いています。来年、またここに就職できるよう頑張りたいと思います。よろしくをお願いします。



①佐藤 雅之(さとう まさゆき)さん②薬剤師③豊後大野市④鉱物標本の収集⑤4月より縁あって当施設でお世話になっています。一人薬剤師としての勤務になりますので、業務の効率化、次へ繋げるためのシステム作りを考えながら業務をこなしていこうと思います。いろいろ至らない点もあると思いますが、よろしくご指導くださいますよう、お願い致します。



①原 志織(はら しおり)さん②心理療法士③大分市④硬式テニス、お絵かきが好きです。⑤はじめまして。心理療法士の原です。スタッフの一員として、外来のお手伝いや病棟の方々と一緒に過ごすことができればと思っています。初めてのことも多く、慣れないところもありますが、精いっぱい頑張ります。



ボランティアさん紹介
二〇一四年度もたくさんの方のボランティアの方に協力いただきました。厚くお礼を申し上げますとともに、これからもどうぞよろしくお願ひ申し上げます。(順不同)
〈行事等〉
野津中学校の皆さま
藤華医療技術専門学校
別府大学・別府短期大学部(初等教育科)の皆さま
臼杵市社会福祉協議会の皆さま
傾聴ボランティアの皆さま
臼杵市お達者長生きボランティア制度の皆さま
個人で来て下さる皆さま
〈ボランティア公演〉
人形劇研究会「劇団マーブル」の皆さま
樫の実少女合唱団の皆さま

ご寄附
二〇一四年度は次の皆さまからご寄附をいただきました。感謝申し上げます。
恵の聖母の家 めぐみ会さま・株式会社そつりんさま・熊笹御堂良資さま・臼杵市社会福祉協議会さま・大分県共同募金会さま・日本財団さま・首藤逸雄さま

感謝

人事

- ▼新規採用
二〇一五年四月一日付
原志織 心理療法士
大賀加奈 児童指導員
板井美佳 看護師
佐藤雅之 薬剤師
- ▼退職
二〇一五年
三月三十一日付
調理師 川野栄子
洗濯員 児玉陽子
四月二十日付
看護師 寺嶋裕美
- ▼短期雇用
(四月二十日～九月十日)
小島あゆみ 看護助手

行事予定

※青色…施設外療育 ◎…ケースカンファレンス ㊟…個別面談
 ㊤…権利擁護・虐待防止部会 ㊦…全体朝礼 ㊧…労働安全衛生委員会
 ㊨…リスクマネジメント部会 ㊩…入浴日

2015年7月			8月			9月			10月		
1	水	㊤ ㊩	1	土		1	火	㊦ ㊧	1	木	
2	木		2	日		2	水	㊤ ㊩	2	金	㊧ ㊩
3	金		3	月	㊩	3	木		3	土	
4	土	㊩	4	火	㊦	4	金	㊧ ㊩	4	日	
5	日		5	水	㊤ ㊩	5	土		5	月	㊩
6	月	㊩	6	木		6	日		6	火	㊦
7	火	㊦ ㊧	7	金	㊧ ㊩	7	月	㊩	7	水	㊤ ㊩
8	水	㊩	8	土		8	火	㊧	8	木	道の駅きよかわ
9	木	臼杵マルショク	9	日		9	水	㊩	9	金	㊩
10	金	㊧ ㊩	10	月	㊩	10	木		10	土	
11	土		11	火	㊧	11	金	㊩	11	日	
12	日		12	水	㊩	12	土	家族の日	12	月	
13	月	㊩	13	木		13	日		13	火	㊧ ㊩
14	火	㊧	14	金	㊩	14	月	㊩	14	水	
15	水	㊩	15	土	聖母被昇天ごミサ	15	火	㊧	15	木	パークプレイス大分 ㊩
16	木	わさだタウン ㊩	16	日		16	水	㊩	16	金	㊩
17	金	㊩	17	月	㊩	17	木	うみたまご ㊩	17	土	
18	土		18	火	㊧	18	金	㊩	18	日	
19	日		19	水	㊩	19	土		19	月	㊩
20	月	㊩	20	木	㊩	20	日		20	火	㊧
21	火	㊧	21	金	㊩	21	月	㊩	21	水	㊩
22	水	㊩	22	土		22	火		22	木	
23	木		23	日		23	水	㊩	23	金	㊩
24	金	㊩	24	月	㊩	24	木	臼杵しまむら	24	土	
25	土	ボランティア公演	25	火	㊧ ㊨	25	金	㊩	25	日	
26	日		26	水	㊩	26	土		26	月	㊩
27	月	㊩	27	木		27	日		27	火	㊧ ㊨
28	火	㊧ ㊨	28	金	㊩	28	月	㊩	28	水	㊩
29	水	㊩	29	土		29	火	㊧ ㊨	29	木	
30	木		30	日		30	水	㊩	30	金	㊩
31	金	㊩	31	月	㊩				31	土	

※関係者の同意のもと、写真を掲載しております。※予定変更の場合があります。

編集後記

新年度に入り、2か月が過ぎました。今回は3月発行で、その時は「次は6月。時間があるある」と思っていたのですが、あっという間ですね。発行後、関係者の皆さまからお便りやFacebook等でお礼の言葉をいただいています。ありがとうございます。この場をお借りして感謝申し上げますとともに、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。(S・M)

療の聖母の家 園内報「リルビの丘」 発行：社会福祉法人 聖母の騎士会 療の聖母の家
 〒875-0211 臼杵市野津町都原3601-2
 http://www.megumihoseibo.jp/